

会議録(要旨)

会議名等	令和5年度第2回自立支援協議会 全体会議	文責	障がい福祉室
日程	令和6年3月25日 午後2時から午後4時30分まで	場所	メイシアター集会室
出席者	波那本委員、播本委員、大西委員、細川委員、伊藤委員、辻委員、西岡委員、 内藤委員、矢田委員、河野委員、大久保委員、片田委員、吉池委員、 西村委員、林委員、土井委員、木谷委員、荒木委員、平井委員		
<p>1. 机上配布資料の確認</p> <p>2. 開会挨拶</p> <p>3. 委員紹介</p> <p>・委員定数 25 名のうち、会場 19 名の委員が出席。半数以上の委員が出席のため、吹田市地域自立支援協議会設置要領第 6 条第 3 項の規定により、本会は成立。</p> <p>4. 傍聴者</p> <p>・会場傍聴者：3 名、オンライン傍聴者 2 名</p> <p>5. 図書館の読書バリアフリー計画推進における協力依頼</p> <p>「(資料 1) 図書館の読書バリアフリー計画推進における協力依頼」参照。</p> <p>・千里山・佐井寺地域会議においてアンケート調査を実施した結果、図書館の障がい者サービスに対して障がい当事者や関係者の認知度が低かった。そのため、必要な人に情報を届ける、読書バリアフリー計画を推進させることを目的に周知方法や関係機関との連携の回り方等における助言・協力を求めた。</p> <p>○意見・質問</p> <p>委員：障がい種別に配慮したという部分が読書バリアフリーイベントなり、今後の読書バリアフリー計画を推進していくことに大きな意味があると思う。周りの利用者にとってどう理解していただけるか、例えば、パニックを起こした時に図書館内でどのように配慮していただけるか、という理解の普及においても併せて進めてほしい。また、デジタル図書等の媒体や障がい特性に応じた資料の種類等についても紹介してほしい。</p> <p>6. 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム専門部会の取組状況</p> <p>「(資料 2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム専門部会の取組状況」参照。</p> <p>・今年度の活動について報告。</p> <p>○意見・質問</p> <p>委員：こころサポーター養成講座。420 人とかなりの人数の方が参加されている。非常に先進的に取り組まれていると感じさせられた。普段は精神科病院に勤務している。吹田市から入院している患者もいる。吹田市における啓発活動や取組が入院患者に知れたら、非常に安心すると思われる。ある市では、市の取組内容を記載したチラシを同市から入院している患者に提示してほしいとの依頼があった。参考にしてみたいか。</p> <p>委員：2024 年 4 月 1 日から週 10 時間以上 20 時間未満勤務の障がい者も雇用率に算定されることとなった。短時間労働であれば可能な精神障がい者も多くいると思われるが、どのように支えていけば良いかわからない企業もあると思う。そのため、市民への普及啓発活動の一環として、企業や関係機関と協議できる場があれば良いのではと思った。</p>			

7. 障がい者差別解消支援専門部会の取組状況

「(資料 3) 障がい者差別解消支援専門部会の取組状況」参照。

- ・今年度の活動について報告。

○委員・質問

委員：スライドNo.2 に「吹田市障害者差別解消支援地域協議会」を吹田市地域自立支援協議会専門部会に位置づけた経緯の「課題発生」とは、吹田市地域自立支援協議会の各会議における委員との重複という認識で良いか、あるいは何か他の課題が発生したということか。

事務局：主には委員の重複である。吹田市地域自立支援協議会との連携強化、普及啓発等の取組を効率的かつ円滑に行うため、同会の専門部会へ位置づけた。

8. 当事者会の取組状況

「(資料 4) 当事者会の取組状況」参照。

- ・今年度の活動・来年度の予定について報告。

○委員・質問

委員：具体的に取り組みが行われており、感銘を受けた。事業所の立場で何が出来るか、共に考えていかなければならないと考えさせられた。

委員：障がい種別や程度、発災の時間帯、発災した時の場所、その周囲の状況によって対応は異なってくる。そのため、様々な状況を想定し、近隣住民との関係や公的支援の状況等を考慮して更に検討して頂けたらと思う。普段からの意識や準備が重要だと思う。

9. 障がい者虐待防止に関する意見交換

「(資料 5) 障がい者虐待防止に関する意見交換」参照。

・早期発見・予防的介入の視点を養うこと、障がい福祉施設の従事者による虐待の実情を知り、そこにある複合的な課題を考え、吹田市地域自立支援協議会や委員でできることの検討を目的として、障がい福祉室従事者による虐待事案 2 事例を紹介し、グループでの意見交換（感じたこと・気づいたこと、それぞれの立場でできること）を行い、全体での意見共有を行った。

10. 吹田市障がい者支援プラン(第 7 期吹田市障がい福祉計画及び第 3 期吹田市障がい児福祉計画)の策定について

「(資料 6) 吹田市障がい者支援プラン(第 7 期吹田市障がい福祉計画及び第 3 期吹田市障がい児福祉計画)の策定について」参照。

- ・吹田市障がい者支援プランについて報告。

11. 地域生活支援拠点等の報告

「(資料 7) 吹田市地域生活支援拠点等事業概要(案)」参照。

- ・地域生活支援拠点等について報告。

1 2. 障がい者福祉年金の廃止に係る報告

「(資料 8) 障がい者福祉年金の廃止に係る報告」参照。

- ・障がい者福祉年金の廃止に係る報告。

○委員・質問

委員：障がい者福祉年金の廃止に係る進め方が非常に姑息な方法だったと思う。令和 5 年度 1 回目の全体会議における案件でもあったが、一言も廃止に向けて検討している等の発言は一切無かった。これまでも様々な制度が廃止されてきたが、今回のような肩透かしみたいなやり方は初めてだ。説明責任を果たしてほしいと思う。吹田市は今まで信頼できる市だと思っていたが信頼できなくなる。

1 3. 手話言語等促進条例の施行について

「(資料 9) 手話言語等促進条例の施行について」参照。

- ・手話言語等促進条例の施行について報告。

【配布資料】

(資料 1) 図書館の読書バリアフリー計画推進における協力依頼

(資料 2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム専門部会の取組状況

(資料 3) 障がい者差別解消支援専門部会の取組状況

(資料 4) 当事者会の取組状況

(資料 5) 障がい者虐待防止に関する意見交換

(資料 6) 吹田市障がい者支援プラン(第 7 期障がい福祉計画及び第 3 期障がい児福祉計画)の策定について

(資料 7) 吹田市地域生活支援拠点等事業概要(案)

(資料 8) 障がい者福祉年金の廃止に係る報告

(資料 9) 手話言語等促進条例の試行について